

群馬県議会 リベラル群馬

# 後藤かつみ

## 県議会だより

vol.10

発行 リベラル群馬 後藤かつみ事務所  
住所 高崎市八幡町800-24  
TEL&FAX 027-343-1393  
e-mail ccrgoto@yahoo.co.jp

<http://www.ccrgoto.com/>

### 本会議一般質問で知事と討論

#### 現場の視点から「群馬型」の経済対策を提言

##### 「100年に1度の経済危機」とは？

大澤知事も多用する「100年に1度の経済危機」という言葉。しかし、時として「バラマキ」の正当化に用いられています。後藤は「従来の成長戦略が限界を来しているからこそ、100年に1度なのであって、

従来の公共事業中心でない新たな経済対策が必要なのではないか」と指摘。

大澤知事も「新たな産業を育成しないと群馬県の将来も難しいことになる」と政策の転換を示唆しました。

##### 「群馬型ニューディール」への転換を

求められるのは「群馬型」の公共投資の在り方。後藤は、「自然エネルギーや農林業に適した環境を活かし、環境、農林業を重点とした公共投資に転換すべき」と提言。その上で、知事が腐心す

##### 環境政策としての公共投資を

具体的な施策として、環境については、全国有数の「日照県」である環境面、県内企業が家庭用燃料電池、電気自動車に進出している産業面の特徴を活かし、太陽光発電を中心とした新エネルギー分野への投資を提言。

また、今年度景気対策として行われている家庭用太陽光パネルへの補助制度に対し、「景気対策ではなく、環境政策」として継続すべき」と指摘。県も事業継続のための予算確保



〈農業の現場〉  
有機農業生産者グループ「くらぶち草の会」の1ターンの受け入れ、消費者交流の取り組みを視察

##### 現場の視点から農林業への投資を提言

農林業については、後藤自身、先進的な農林業に取り組む事業者を視察するだけでなく、販路開拓などの活動を一緒にやって取り組んでいます。現場での交流を通じた視点から、先進的な

農業においては「良いもの」を「必要とする人」へと繋ぐ販路の確立を、林業においては細分化されている山林を効率的に集約する人材の育成を強く訴えました。



〈環境の現場〉  
約600戸の家庭用ソーラーパネルが建ち並ぶ、パルタウン城西の杜（太田市）を先進地視察



〈林業の現場〉  
高性能林業機械を駆使し、競争力の高い林業を目指す「株桐生林業」を視察。桐生社長から未来の林業に対する熱い思いを聞く